

オープニングセレモニー

◎開催日／平成27年1月17日 ◎会場／静岡浅間神社



式典のオープニングを飾る静岡浅間木遣保存会と静岡浅間神社祭礼囃子保存会勇会のコラボによる木遣とお囃子の披露

家康公四百年祭の幕開けを告げるオープニングセレモニーを静岡浅間神社で開催し、伝統芸能など家康公によって培われた文化を披露した。徳川宗家をはじめ徳川一門、浜松市、岡崎市のほか、家康公ゆかりの自治体、経済界の関係者らが約200人参列し、盛大で華やかな開幕となった。会場には報道関係12社が取材に訪れ、首都圏キー局をはじめ、新聞やテレビで紹介され、家康公四百年祭の幕開けを全国に発信した。



家康公が静岡浅間神社に奉納したと伝えられる稚児舞



家康公四百年祭の成功祈願



グレート家康公「葵」武将隊による家康公四百年祭の開幕を告げる勝鬨



3市の商工会議所を代表した静岡商工会議所後藤会頭の挨拶

第59回静岡まつり

◎開催期間／平成27年4月3日～5日 ◎会場／呉服町通り・御幸通り・葵スクエアなど

「駿府で徳川家康公が家臣を連れて花見をした」という故事に倣い、毎年4月に行われる「静岡まつり」を家康公四百年祭の春のシンボルイベントとして位置付け、様々な記念事業を実施した。中でも、「日本のまつり～家康公のもと駿府へ」では、徳川家のゆかりや静岡市と関係の深い日本各地の勇壮な踊りや山車など6団体(福岡市「博多祇園山笠」、川越市「川越まつり」、島田市「帯まつり」、徳島市「徳島阿波おどり」、高知市「よさこい鳴子踊り」、太田市「尾島ねぶたまつり」)、1500人を超える祭衆が一堂に集結し、静岡のまちを盛り上げた。

また、京都三大祭りの一つである葵祭にご奉仕されている「斎王代」が初めて京都を出て、葵使歓迎式典に臨席するなど、シンボルイベントに相応しい様々な関連事業を実施した。



博多祇園山笠が博多手一本を観覧席前で披露



「本家大名連」による徳島阿波おどり



前夜祭において、シンボルオブジェ「家康公ねぶた」を初披露



葵使歓迎式典に臨席した京都三大祭の一つ葵祭の「斎王代」

久能山東照宮御鎮座四百年大祭

◎開催期間／平成27年4月15日～19日 ◎会場／久能山東照宮



ご本殿に向けて参進する司祭・宮司以下祭員

天候にも恵まれ、多くの参拝者のもと各日午前10時より四百年大祭が御本殿にて斎行。

4月15日 奉告祭

四百年大祭のはじまりを御神前に申し上げる祭典

4月16日 平和祭

御祭神が生涯をかけて心を砕かれた、天下泰平と無事長久の精神が平成の御代にも継承されていることを御神前に申し上げる祭典

4月17日 御例祭

御祭神徳川家康公のご命日にあたり四百年大祭の中でも一番の重儀

司祭徳川宗家徳川恒孝様、副司祭尾州徳川家徳川義崇様、水戸家徳川斉正様、御宗家ご嫡男徳川家広様ご奉仕のもと斎行

徳川家・松平家御一門・徳川家康公顕彰四百年記念実行委員も参列

4月18日 奉幣祭

四百年大祭斎行にあたり天皇陛下からの御幣物が御神前に奉られ、司祭徳川恒孝様ご奉仕のもと厳粛に斎行

4月19日 終了祭

四百年大祭の終了を奉告する祭典



宮司祝詞奏上



神賑行事の太鼓奉納

平成の徳川家臣団大会2015 in 駿府

◎開催期間／平成27年4月16日～17日 ◎会場／グランシップ、浮月楼



「家康公を支えた家臣たち」について語るパネリスト



家康公にちなんだお弁当を楽しむ交流会「昼の部」



慶喜公も楽しんだ打上げ花火を再現した交流会「夜の部」

家康公のご命日の前日に、江戸時代の徳川家を15代にわたり支え続けた旧幕臣の子孫らが一堂に駿府(静岡)に集まり、家康公を称える「平成の徳川家臣団大会in駿府」をグランシップで開催した。徳川宗家第18代当主徳川恒孝氏のもとに、徳川家臣団の子孫たちで組織されている「柳営会」「牧之原開拓幕臣子孫の会」「開陽丸子孫の会」「万延元年遣米使節子孫の会」「咸臨丸子孫の会」「鳥居会」のほか、歴史ファンなど約1200人が集まった。

徳川みらい学会芳賀徹会長の基調講演後、「歴史読本」編集長石井久恵氏、歴史小説家植松三十里氏、講談師田辺鶴遊氏、作家・古武術研究家多田容子氏によるトークセッションを行った。交流会「夜の部」は浮月楼で開催、また翌日には「お墓参りツアー」を行った。

歴史探検熱気球 in 駿府城公園

◎開催期間／平成27年8月12日～16日 ◎会場／駿府城公園

熱気球に乗って、高さ約30mの上空まで舞い上がり、大御所・家康公が天守閣からご覧になったであろう駿府の景色を体感できるイベントを駿府城公園で開催。

イベント初日には、「駿府城を愛する会」の協力により、市内の幼児ら約300人が手をつないで、天守台跡の輪郭をつなぐ「ハンド・イン・ハンド」を行った。



市内の幼児ら約300人が手をつないで、天守台跡の輪郭をつなぐ「ハンド・イン・ハンド」



上空約30mからの風景



気球に乗った感想を述べる田辺静岡市長



熱気球2機による乗船体験

駿府天下泰平まつり

◎開催期間／平成27年9月18日～27日 ◎会場／駿府城公園 ほか

秋のシンボルイベントとして、駿府天下泰平まつりを駿府城公園において開催した。

ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」による“夜の駿府城跡と、浮遊する光の天守”をはじめ、家康公の功績をクイズ形式で学ぶ「謎解き 家康御殿」など、多彩なプログラムを展開し、10日間で約70万6000人が来場した。

メイン会場となった駿府城公園をはじめ、まち歩き謎解きゲームのコースとなった市街地においても、連日、多くの家族連れで賑わい、様々な体験や舞台の出演などには、250以上の団体が担い手として参画し、市民総出の祭りとなった。

また、世界の識者が家康公と平和を語る国際シンポジウムを開催し、家康公の縁で結ばれた国々との新たな絆を再創造した。



「チームラボ」による“夜の駿府城跡と、浮遊する光の天守”



約70万6000人が来場した駿府天下泰平まつり会場



クイズに挑戦しながら家康公を学ぶアトラクション「謎解き 家康御殿」



駿府天下泰平まつり開幕を上げる前夜祭

家康公の想いをつなぐ～朝鮮通信使～

◎開催期間／平成27年9月15日～11月8日 ◎会場／駿府城公園・呉服町通り・静岡市民文化会館・清見寺・マリナート・坐落荘



静岡および釜山広域市の参加者約300人による朝鮮通信使再現行列

家康公の平和外交の象徴ともいえる朝鮮通信使が果たした役割を伝え、平和へのメッセージを世界へ発信するため、韓国・釜山文化財団等の協力のもと、釜山から約100人の使節団を迎え、様々な関連事業を市内各所で実施した。中でも、駿府天下泰平まつりの会場を使用し、テレビドラマ「イ・サン」や「大王の夢」に出演した韓国俳優・ジョンズ氏の正使役を筆頭に、釜山広域市からの使節団や静岡市民など約300人が参加した壮大な朝鮮通信使再現行列は多くの来場者の目に留まることとなった。

また、日韓の伝統的な芸能から現代の芸能まで多彩なパフォーマンスを披露し、お互いの文化の紹介や交流を通して平和友好のメッセージを発信したほか、朝鮮通信使の韓紙人形約1000体を市内2カ所で展示し、朝鮮通信使の果たした役割や家康公の平和外交を市内外に向けてPRした。



呉服町通りにおける日韓芸能団体のパフォーマンス



韓国俳優・ジョンズ氏扮する正使と小長谷静岡市副市長扮する家康公による親書交換



韓国伝統工芸「韓紙人形」約1000体による朝鮮通信使韓紙人形展

全国商工会議所観光振興大会2015 in しずおか

◎開催期間/平成27年11月12日～14日 ◎会場/グランシップ、ホテルセンチュリー静岡、浮月楼 ほか

歴史・文化資源の「再発見」と「学び」による観光振興をテーマに「全国商工会議所観光振興大会2015 in しずおか～家康公と世界文化遺産『富士山』に学ぶ」を開催し、全国約200の商工会議所から1500人を超える役員等が参加した。

分科会は、「歴史・文化」「街道」「広域・インバウンド」「産業観光」などをテーマに開催。全体会議は、東海大学観光ビジネス学科宮内順特任教授の基調講演、俳優滝田栄氏、エッセイスト望月照彦氏、歴史小説家植松三十里氏、タレント堀口菜純氏によるパネルディスカッション後、魅力ある観光と地方創生につなげる大会宣言「しずおかアピール」を採択し、終了した。

全体会議後には、静岡・山梨県内を巡る計12コースのエクスカージョンに参加した約400人に「静岡型のおもてなし」を行った。



全体会議(主催者挨拶:静岡商工会議所後藤会頭)



全体交流会



第5分科会講演

市民参画事業

◎開催期間/通年 ◎会場/市内各所

多くの市民が徳川家康公が駿府に暮らした時代に想いを馳せ、家康公の智恵や功績を再認識できる機会を創出し、家康公及び郷土への誇りを醸成するため、市民による企画事業を公募。審査の結果、約50件の事業を認定し、支援を行った。1年間にわたり市内各地で多彩な事業が展開された。



和太鼓演奏



もっと知ろうよ朝鮮通信使!体験すごろく



折戸なす育成事業



久能山まつり

徳川みらい学会講演会

◎開催期間/年間6回 ◎会場/静岡市民文化会館中ホールほか

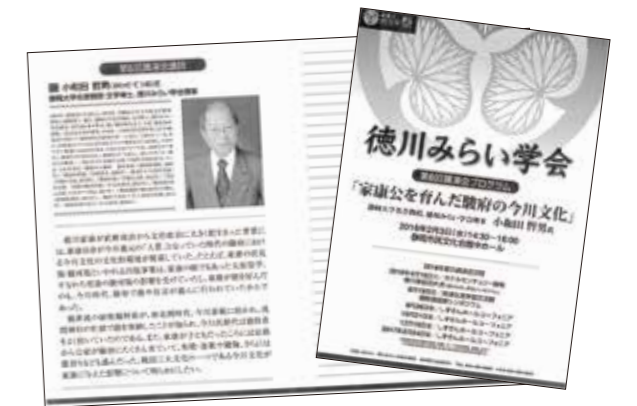


第4回講演会「徳川時代の人々がみた星空」



徳川家康公作文コンクール表彰式

徳川家康公が大御所時代を過ごした駿府(静岡市)を拠点に2013年4月、「徳川みらい学会」が設立された。長い平和の時代を築き、高度な発展を見せた徳川時代の智恵を学び、現代、未来の人々に伝えていくことが目的。年6回の講演会における学習を中心とした活動を展開している。2015年は4月の「徳川家臣団大会」、6月の「朝鮮通信使シンポジウム」、8月の「3市交流コンサート」などといった協働事業や、静岡県内の小中学生を対象にした徳川記念財団主催の「徳川家康公作文コンクール」を共催するなど、四百年祭にふさわしい事業展開を行った。



特に、駿府天下泰平まつりで開催した国際シンポジウム「徳川の平和 その智恵と遺産」では、芳賀徹徳川みらい学会会長を司会に、ロナルドトビ米国イリノイ大学名誉教授、ポダルト・ベイリー大妻女子大学名誉教授、笠谷和比古帝塚山大学教授、上垣外憲一妻女子大学教授、タイモン・スクリーチ英国ロンドン大学教授が自身の研究成果と意見を述べ、静岡市民ら400人が聴講した。



国際シンポジウム

徳川みらい学会アドバイザー

※順不同 敬称略



静岡県立美術館長
芳賀 徹



静岡文化芸術大学学長
熊倉 功夫



静岡大学名誉教授
小和田 哲男



静岡大学名誉教授
本多 隆成



静岡産業大学元教授
中村 羊一郎



東京藝術大学院教授
麩内 佐斗司



静岡文化芸術大学教授
磯田 道史